

共通項目	チェック項目	事業者アンケート（9名中9名回答） 100%			保護者アンケート(33名中26名回答) 79%			
		はい9名中	どちらともいえない	いいえ	はい26名中	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4		19	5	1	①
	2 職員の配置数は適切であるか	7	2		26			②
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	5		16	8		③
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	4		/			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4					
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3					
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1					
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9						
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		26			④
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4		/			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3					
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1					
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	1	/			
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1						
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9							
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9							
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2						
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2						
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	3						
関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5		/			
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	2					
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6	1				
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	5	1				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4	2				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	2				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	4	5	17	5	⑥
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	6	1				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			26			⑧
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	3				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			26			⑦
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2		26			⑨
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	2	9	14	3	⑩
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		19	6		⑪
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			26			⑬
	35	個人情報に十分注意しているか	9			26			⑭
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			26			⑫
非 常 時 等 の 対 応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	2				
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9			26			⑮
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			26			⑯
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9						
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	5					
満 足 度	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2					
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9						
満 足 度		子どもは通所を楽しみにしているか				26			⑰
		事業所の支援に満足しているか				26			⑱

## 2019年度の改善目標に対する2020年度の改善結果

保護者との認識のズレがあったと思われるもの	課題に対する対応策（改善目標）	2020年度の改善目標に対する改善結果
③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことが特にないということで、どちらともいえないにチェックをつけている方が多かった。</li> <li>○対応できている（工夫している）点</li> <li>・相談契約時に相談・苦情窓口の説明をし、どんな些細なことでも相談してくださいとインフォメーションしている。</li> <li>○課題に対する対応策</li> <li>・年度切り替え時に行政やにじこの相談・苦情窓口のお知らせを作成し周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要事項説明書の変更に合わせて、世田谷区児童相談所が開設したことをお知らせを作成し、周知を行った。</li> <li>・何かあれば連絡帳や面談、電話等で迅速に対応を行ったことで保護者からは「苦情がない」、「相談しやすいかも助けられています」とアンケートでコメントを頂いた。</li> </ul>

職員同士に認識のズレがあったと思われるもの	課題に対する対応策（改善目標）	2020年度の改善目標に対する改善結果
③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋の構造上、トイレに入る前に段差がある。</li> <li>○対応できている（工夫している）点</li> <li>・段差がはっきりするよう上の段と下の段を色分けしている。</li> <li>・足元が不安定な利用者については必ず職員が付き添って対応している。</li> <li>・見学時に緊急時の避難のことを考えて、自力で階段を昇り降りできるか、確認を取っている。</li> <li>○課題に対する対応策</li> <li>・安心して過ごせるよう、環境整備を行う。</li> <li>・人員配置等により、より安全に配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で常時窓を開け換気を行っていたため、夏は暑く冬は寒いなどの影響があった。しかし、サーキュレーターや空気清浄機などを購入し少しでも快適に過ごせるよう環境を整えた。</li> </ul>
①① 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム会議という形では行っていないが、職員が分担して企画している。</li> <li>○対応できている（工夫している）点</li> <li>・リーダー職員がプログラム内容を立案し相談、助言を受け、工夫しながら活動プログラムを決めている。</li> <li>○課題に対する対応策</li> <li>・子どもたちが興味を持てるものや、保護者の要望、普段の振り返りで出た意見を活かしながら、それぞれが分担してチームとして企画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で利用者が楽しみにしているクッキングの活動を中止せざるを得なくなった。</li> <li>・振り返りで出た意見を活かし、次の活動に工夫をして提供できた。</li> <li>・室内が密にならないよう、外での活動を多く取り入れ、シャボン玉やボールなどを購入し遊びを充実させた。</li> <li>・アート活動では季節に合わせた壁面作りを職員間で相談しながら行った。また達成感を得られるよう、個人の力に応じたものを提供した。</li> </ul>

今後の課題について	課題に対する対応策（改善目標）	2020年度の改善目標に対する改善結果
「どちらともいえない」が多い項目に関しては、非常勤職員がわからないため、「どちらともいえない」と答えたと思われる。ガイドライン等は常時閲覧等をして設置しているが、全体に周知し、疑問に思うことに関しては、随時丁寧な伝えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル、手順書類をいつでも活用できるよう整理・ファイル化したり、掲示する等して全体に周知し、随時丁寧に伝えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どちらともいえない」と回答している項目に関しては、非常勤だからわからないという回答が今年度も多かった。わからないことをそのままにせず、一つ一つ丁寧に伝え、専門性とチーム力を高められるようにする。</li> </ul>
今年度、駅近くに移転したところで、新たな場所で活動することになった。地域情報を得ながら無理のない範囲で交流や連携を進め、地域に根付いた活動をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街振興組合や自治会等地域の社会福祉協議会に協力を得ながら情報収集する。無理のない範囲で交流を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自治会に入会し関係性づくりがスタートできた。今年度は新型コロナの影響で地域交流する機会が無くなってしまった。今後は地域の方に知ってもらえるよう情報発信していく。</li> </ul>

### ▶ 2020年度職員内で今後の支援の改善が必要と思われる項目について

今後の課題について	課題に対する対応策（改善目標）	2021年度の改善目標に対する改善結果
利用者や保護者が安心できる居場所を提供する。利用者が興味を持ち、取り組めるプログラムの工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びのコーナーをつくる。備品、設備の購入を検討し環境を整える。</li> <li>・特性にあった教材づくりや、個別ニーズに合った活動プログラムを検討し実施する。</li> </ul>	<p>※今後の取り組みを経てから、結果を公表します。</p>
職員がいきいきと働き、成長できるよう、マニュアル・手順書類のさらなる活用やその工夫をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスのガイドライン、マニュアル・手順書類をいつでも活用できるよう整理、ファイル化、掲示する。</li> <li>・制度等について情報を共有する機会を設ける。</li> </ul>	<p>※今後の取り組みを経てから、結果を公表します。</p>
地域の人々との交流や連携をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりを得て情報を収集する。</li> <li>・にじこのからの情報を発信するなどして、地域に知ってもらう。</li> </ul>	<p>※今後の取り組みを経てから、結果を公表します。</p>